

高速高品質コンテンツ配信を実現する自律適応型メタコンテンツ・ネットワーク技術に関する研究開発（住友電気工業株式会社）平成15年度中間評価結果

整理番号	評価	所 見	再評価	再 所 見
14 - 12	A	<p>現在の市場の動向に対応した適切な研究開発となっている。独自の研究成果は少ないが、パケット欠損回復用誤り訂正符号として優れた特性を持つ Raptor 符号の知的財産権を持つ会社との強固な連携関係を保っているため、強い競争力を持っている。</p> <p>事業化関係では、事業化プロセスが妥当であり、既に製品化に向けて動き出している。事業化体制も問題なく、また、早期の市場化に向けての取組みが行われていること、事業化計画等に堅実性があること等から、収益も期待できる。更に、市場動向、ニーズに合わせて的確に事業化に向けての一貫した取組方針が確立されていることも評価できる。</p>		